

ニッケグループ各社の取り組み ニッケ(日本毛織株式会社)

本社

CO₂排出量低減を意識した節電に取り組みました。

通年の取り組みに加え、①「節電に配慮した冬期防寒対策」②「フロア内照明間引き」③「最大デマンド値の再設定」を実施しました。前年度比で、冬期(12～2月)で5.6%(9,933kWh、CO₂換算5.2トン)、夏期(7～9月)で11.1%(17,958kWh、CO₂換算9.4トン)の削減となりました。



デマンド制御装置
(中央監視盤)

神戸本店

夏の節電対策として、照明を間引くほか、空調温度の28℃徹底、自動販売機の台数削減・省エネ機への切り替えなど、最大電力を抑制しました。

また、社会貢献として、エコキャップやプルタブの回収を継続しています。



エコキャップ、プルタブの回収

東京支社

事務室の照明見直しに着手しました。従来、企画部員と営業部員が生地の色を見るときに求められる、晴天日の北窓光線を想定した高演色性特殊蛍光灯D65光源を使用していました。そこで、メーカーに依頼してD65光源に近いLEDランプを12本制作してもらい、蛍光灯6基分を置き換えました。これまで使用していた光源と比較し、価格は1/3となり、消費電力も大幅に減少しました。2015年度の電力使用量は2014年度比で95.6%となり、4年連続して前年度比減少を達成しました。



D65光源に近いLED照明

北海道営業所

省エネ対策として、空調設定温度の管理や、就業時間外は冷暖房を入れないなどの節電を継続実施しています。蛍光灯の間引きや、休憩時間や業務時間外には照明を最低限にすることを徹底しました。

また、コピー用紙の裏面利用やゴミの分別回収など、資源保全にも取り組んでいます。

仙台営業所

2015年度も継続して節電を中心に環境活動を推進しました。夏季は窓を開放してエアコンの使用を控え、電灯の間引き、昼休みの消灯を徹底しました。ペーパーレスの推進やコピー用紙の裏面使用、ゴミの分別なども継続して取り組んでいます。



窓を開放

名古屋営業所

2015年度も空調設定温度の管理徹底、不要時消灯などの節電対策を継続的に実施しました。またゴミの分別とリサイクル、保管書類の電子化によるペーパーレス推進、コピー用紙の再生紙利用や裏面利用など、資源保全の取り組みも継続しています。

広島営業所

休憩時間中の消灯、蛍光灯の間引き、空調設定温度の管理を徹底して省エネ対策を継続しています。ゴミは分別ボックスによる回収、コピー用紙の再生紙利用や無駄なコピーの削減を継続的に徹底しています。

九州営業所

蛍光灯の間引き、休憩時間中の消灯、空調設定温度の管理などにより省エネに取り組んでいます。

また、保管書類の電子化によるペーパーレス推進、コピー用紙の裏面利用、ゴミの分別を徹底し、環境保全に努めています。

印南工場

【ユニフォーム素材の製造】

ISO14001認証取得/2000年11月(登録番号 JMAQA-E156)

工場の省エネ対策として、織絨課コンプレッサーをインバータ化、既設変圧器4台をアモルフラス変圧器に更新したほか、エアコン1台を高効率タイプに更新した結果、電力使用量を約140,000kWh/年(1.3%)削減できる見込みです。



アモルフラス変圧器に更新

一宮事業所

【メンズ・レディスファッション素材を中心に製造】

ISO14001認証取得/2007年12月(登録番号 JMAQA-E724)

水質汚濁防止法の改正に伴い、有害物質の地下浸透を防止するために排水路・貯水槽の改修を実施しました。排水路は工事可能な箇所ステンレス板を全面に張り付け、貯水槽はコンクリート打設後に防水加工を施しました。



排水路・貯水槽の改修

岐阜工場

【毛糸の製造】

ISO14001認証取得/2001年10月(登録番号 JMAQA-E234)

精紡機の糸切れ検出用照明を水銀灯ランプからLED照明に切り替えました。電力使用量を年間222,600kWh(CO₂換算で114トン)削減できました。ランプの寿命が長く、水銀灯に比べ発熱の少ないLED照明は、交換経費の削減、職場環境の改善に寄与しています。また、常時点灯していた精紡機の機台間の照明も、列単位でスイッチを取り付け照明電力の削減に努めています。



照明電力削減と糸切れ検出用照明をLED照明に変更

ニッケグループ各社の取り組み ニッケ(日本毛織株式会社) グループ会社

ニッケコルトンプラザ 【ショッピングセンター】

センターモール用空調設備の熱源機(吸収式冷温水機)が設置後26年経過し、老朽化していたため、1台更新しました。更新したことにより、電気使用量17.9%、ガス使用量14.5%の削減を見込んでいます。

また、別の熱源機(吸収式冷温水機)1台をオーバーホールして省エネを図りました。



熱源機の更新

ニッケパークタウン 【ショッピングセンター】

空調送風機の運転周波数低減や、春・秋の中間期には涼しい外気を取り入れて館内冷房に利用することにより、冷凍機の運転時間を短縮しています。



館内のLED誘導灯

また、誘導灯や階段室非常灯をLED器具に順次更新し、省エネを図っています。

株式会社ナカヒロ 【衣料繊維製品および繊維資材製品の販売】

ISO14001認証取得/2002年6月(登録番号 E465)

ISO14001の環境方針として①省エネルギー、廃棄物削減、②省資源、③環境配慮商品の販売を掲げ、それぞれの目標として①ニッケ大阪ビルの「地球環境委員会」への参画による電力・ゴミの削減、②PPC用紙使用量の削減、③防災グッズの販売に取り組み、エネルギー、ゴミ、PPC用紙の削減について成果を残すことができました。



防災グッズ

また、環境配慮商品の販売の一環として、自社名古屋支店と各営業所・山形工場に防災グッズを配備しました。

アカツキ商事株式会社 【衣料繊維製品の販売】

ISO14001認証取得/2001年9月(登録番号 JSAE419)

ニッケグループで取得した「エコシップ」(P.19参照)を利用し、茨城県警様、栃木県警様の使用済みユニフォームを回収し、リサイクルしました。

また、昨年に引き続き省エネ、エコ繊維の販売などに取り組みました。特にペーパーレス化は、全社で社員の意識向上を図り、紙の使用量削減に取り組んでいます。

佐藤産業株式会社 【衣料繊維製品の製造・販売】

ISO14001認証取得/2001年11月(登録番号 JE0129E)

ニッケ・アカツキ商事(株)・(株)ナカヒロとともに「エコシップ」の認定を受けました。廃棄ユニフォームの再生循環を通じて、CO₂排出量の削減に取り組んでいます。

株式会社ニッケファブリック 【梳毛糸の製造・販売】

南海ニッケヤーン(株)は2015年4月1日に(株)ニッケファブリックに社名変更しました。

継続した取り組みとして、社内用コピー用紙の裏面利用、昼食時間の事務所消灯に加え、ゴミの分別回収、夏期28℃・冬期20℃の空調温度管理を徹底し、各人の環境への意識向上を図っています。

一宮事業所と足並みを揃え省エネ・省資源活動に取り組んでいます。

大成毛織株式会社 【織物の製造】

従来FAXを使用していた書類をメールに変更するなどによって紙の使用削減に努めました。

また、コピー用紙の再生紙や裏面の利用に継続的に取り組んでいます。

ニッケテキスタイル株式会社 【織物の製造・販売】

全社員で快適環境づくりを目指して、毎週第一営業日の朝、勤務開始時間前に事務所と創作工房敷地内の清掃を継続して行っています。

また、ゴミの排出削減と資源の無駄をなくす目的で、残糸の有効活用に取り組み、環境対応に努めました。

年間を通じて、不要時の消灯徹底と空調温度管理により、省エネ活動に取り組んでいます。

尾州ウール株式会社 【毛糸の製造】

尾州ウール(株)では省エネ電力活動を進めるため、主力設備であるダブルツイスターにデジタル積算電力計を設置し、消費電力分析を行いました。

その結果、最も効率の良い運転方法を2015年5月より実施しており、9月時点での電力使用量原単位は12.5%改善しました。

金屋ニット株式会社 【ニット製品の製造・販売】

2014年3月に省エネ型タイプエアコンに更新し、4月に事務所と工場内の主な照明にLEDを導入して消費電力削減に取り組みました。その結果、電気使用量は前年度比、エアコンで8%、照明で34%削減することができました。

また、不用時消灯の徹底と空調温度管理、さらには裁断くずの再生利用なども継続して取り組んでいます。



LED照明の導入

株式会社キューテック 【織物製品の縫製加工】

工場内で発生したゴミは、今まで再資源化可能なものはリサイクル業者に委託をして有料で処分していました。しかし、2015年5月より無料で回収してもらえる業者を見つけ、ゴミの分別回収を最大限に細かく分け、産業廃棄物処分費用を年間で11万円削減する見込みです。

ニッケグループ各社の取り組み グループ会社

艶金化学繊維株式会社

【染色整理加工】

テキスタイル製造での環境負荷が染色整理工程にあるとの自覚のもとで、化学薬品、廃棄物、水消費と排水、エネルギー、温室効果ガス排出、職場環境のすべてにおいて厳格な管理レベルを目指しています。継続的なCO₂排出量削減活動が認められ、環境省の事例集に掲載されました。



環境省の事例集に掲載

株式会社ニッケ機械製作所

【機械設計・製造・販売】

ISO14001認証取得/2004年11月(登録番号 3030786)

2014年6月頃から当社およびニッケグループを中心に、エアコンにファンを取り付けた「ハイブリッドファン」を設置しています。「室内の温度ムラの解消」や「空調が効くまでの時間の短縮」を可能にし、エアコンの直撃風を和らげ、オフィス環境の改善に効果を発揮しています。

また、「ハイブリッドファン」は、電気などの追加動力源が不要で、エアコン動力のみで作動するため、エアコンの切り忘れ防止にも効果があります。



ハイブリッドファンの設置

青島日毛織物有限公司(QNF)

【織物の製造加工】

蒸気の配管径を見直し、サイズを縮小しました。これにより生産量が一定規模以下に減少した際の使用蒸気量を削減できるようになります。季節により生産量の変動が生じる場合のエネルギー節約に効果があり、蒸気使用に伴うコストの削減にもつながります。

また、昨年に引き続き、節電啓蒙ポスターなどによる社員の環境意識の改善に努めています。

アンビック株式会社

【繊維資材製品の製造・販売】

ISO14001認証取得/2001年11月(登録番号 JQA-EM1898)

工場排水の削減と熱回収を目的として排水リサイクル設備を導入しました。フェルト製造工程から排出される洗絨排水、染色排水を回収し、UF膜・RO膜でろ過することで原水よりも不純物が少ない水を生成し、洗絨、染色工程で再利用しています。

2015年11月より稼働しており、工場排水量を45%削減する見込みです。



排水リサイクル設備の導入

江陰日毛紡績有限公司(JNS)

【毛糸の製造・販売】

2015年8月、排水総量規制への対応と排水処理の効率化を図るため、

比較的きれいな生活排水と染色排水を分け、染色排水のみ場内の排水処理設備で処理するように排水路を改修しました。染色排水のみ重点的に排水処理することで、処理水量は約2割減少、処理薬剤も大幅に削減することができました。



生活排水用流量計室

日毛(上海)管理有限公司(SNM)

【中国グループ会社向けのコンサルタント業務、資金融資、新規事業開発支援】

2015年度は、2つのフロアに分かれていた事務所を1カ所に集約することで、事務所賃料の低減、電気代などエネルギーの節減を実現しました。

また、会議資料のペーパーレス化、コピー用紙の裏面利用、使用可能な備品の再利用などによる資源保護、PM2.5やインフルエンザの対策として空気清浄機の設置も引き続き行っています。



事務所を1カ所に集約

日本フェルト工業株式会社

【繊維資材製品の加工】

昇降機出入口は吹き抜け状態であったため、室内空調を稼働させても外気の流入により空調効率が非常に悪い状況でした。自動シャッターを取り付けたことで、空調機の稼働を最低限にできるとともに、遮蔽シャッターの閉め忘れ防止を確実にできるようになりました。

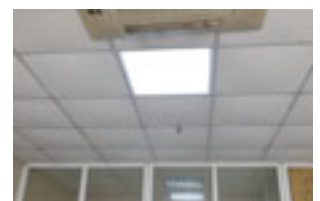


昇降機出入口へのシャッター取り付けによる室内空調の効率化

江陰安碧克特種紡織品有限公司(JAF)

【繊維資材製品の製造加工】

2015度は食堂の照明器具をLEDタイプに取り替えました。来年度以降も随時、LEDタイプへ切り替えていく予定です。



食堂の照明器具をLED化

ニッケグループ各社の取り組み グループ会社

安碧克(上海)貿易有限公司 【繊維資材製品の販売】

会社設立時からコピー用紙の裏面利用、不要照明の消灯に継続して取り組んでいます。

石炭火力発電所向けPM2.5対応PPSフィルターバッグ開発品を、中国環境博覧会に出展し、ばいじん濃度削減を目標に中国国内で初の納入を実現しました。今後中国国内の環境保全のため、拡販していきます。



中国環境博覧会に出展

ゴーセン・タイランド 【自動車用繊維資材の販売】

BANGKOK事務所をAMATA工場に統合、一括管理することにより、人件費・管理費・光熱費・交通費を削減しました。

また、客先納品時には、段ボールパッキンを使用せずに通箱を全面採用しています。紙管などの副資材も回収・再利用し、廃棄物減量を心がけています。



納品形態に通箱を採用

安碧克(香港)有限公司(HAM) 【繊維資材製品の販売】

昨年の難燃SNシリーズに加え、2015年度はヒメロンソフトタイプの販売を開始しました。ヒメロンシリーズは、風合い、厚みのバリエーションも増え、中国および東南アジアへの販売をますます広げています。

また不織布単体だけではなく、自動車業界の環境規制にも適応した、低VOC粘着加工品の拡販にも注力しています。



ソフトヒメロンシリーズを追加ラインナップ

ニッケ不動産株式会社 【住宅などの建設・販売、不動産管理事業】

2012年度より継続して事務所内の照明をプルスイッチにて不要時・不要箇所の消灯に努めました。FAX保存機能の活用、資料のデータ保管などでコピー用紙削減に継続して努めました。加古川営業所では仮移転先にLED照明を採用し節電に努めました。



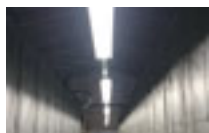
LED照明の導入

株式会社ゴーセン 【テニス・バドミントンラケット、釣糸、産業資材の製造・販売】

ISO14001認証取得/2005年4月(登録番号 JQA-EM4701)

作業場照明の一部をLED照明に変更しました。使用頻度の高い24時間操業の作業場を選定してLED化を進め、1,450kWh/月の電力量削減となりました。

また、環境負荷リスクの高い水銀灯を撤去し、適切に処分しました。



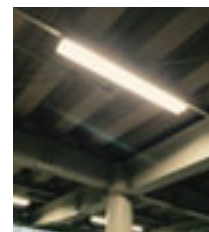
LED照明の導入

株式会社ニッケレジャーサービス 【ゴルフ施設運営・管理】

2015年度は、京口センター・一宮センター・碓日寺センターでの打席のLED化を実施しました。省電力化を推進するとともに、蛍光灯に集まる虫の予防策にもなり、練習環境の向上につながりました。

また、一宮センター・碓日寺センターにおいては、ベンダー業者の協力のもと、低電力タイプの自動販売機を導入しました。

2014年度から導入した「使用電力監視システム」の成果も見られはじめ、全事業所での削減意識の向上に取り組みました。



打席にLED照明を導入

ホクレン株式会社 【繊維資材の染色加工】

節電対策として、すべての職場の蛍光灯をLEDに変更しました。空調機も節電対応できるものに変更しています。

また、工場内外の清掃をするほか、年2回の工業団地の一斉清掃に参加しています。



水銀灯をLEDに変更

株式会社ニッケインドアテニス 【テニス施設運営・管理】

2014年10月に「使用電力監視システム」の新型機を導入した東海4校では、30分ごとの電気使用量を設定、監視することにより、年間の電力使用量を4校平均で約10%削減することに成功しました。2015年8月には同機を関東3校(八千代、佐倉、小豆沢)にも導入しました。よって、2016年度はさらなる削減を見込んでいます。

また、岐阜校・一宮校のテニスコート照明をメタルハライド(水銀電球)からLED照明に変更する予定です。省エネとともに『地球にやさしい企業』をPRしていきます。



使用電力監視システム新型機を導入

上海高織制紐有限公司 【繊維資材製品の製造】

ISO14001認証取得/2004年3月(登録番号 01 104 031654)

工場内では休憩中の消灯・照明本数の見直しを行い、事務所ではコピー用紙の裏面利用などを実施しています。

引き続き、中国国内の環境保全に貢献していきます。



休憩中の消灯の徹底

ニッケグループ各社の取り組み グループ会社

株式会社ニッケ・ケアサービス

【介護事業】

ニッケあすも一宮(特定介護施設・デイサービス・居宅介護支援事業所・本社事務所)では、電力デマンド管理の徹底と夏場の窓の日よけ効果により、年間約30万円(実績値)の電力消費量を抑制しました。



電力デマンド管理の徹底

日本パムコ株式会社

【介護事業】

2015年3月よりグループ会社となりました。

ゴミの分別収集、節電のための電灯の間引き、不要時間における照明の消灯、28°C/20°Cの空調温度設定などを行っています。

また、不要になった福祉用具のリサイクルなどを行っておりますが、今後さらに環境配慮型の企業へ進化していく予定です。

株式会社ジーシーシー

【携帯電話販売】

コピー用紙削減のため、FAXをメールで送信するようにしました。

また、定例会議での資料はすべてタブレットを使用し、ペーパーレス化しました。店舗の店内照明・看板のLED化についても、順次進めています。今後は、お客様からいただく申込書へのサインも電子化する予定です。

ニッケアウデオSAD株式会社

【菓子小売・キッズランド・TSUTAYA・飲食カラオケ施設運営・管理】

サーティワンアイスクリームおよび飲食店舗では新店舗の照明を一部LED化、またTSUTAYAの既存店舗においても照明のLED化を一部行いました。



LED化したサーティワンアイスクリームメラード大和田店

ニッケ商事株式会社

【毛布・寝装用品の製造・販売、手編糸・スーツの販売】

コピー用紙の再利用、不要なプリントの抑制、ゴミの分別および削減、エレベーターの使用制限やこまめな消灯など社員一人ひとりが意識を持って身近な省資源・省エネルギー活動に取り組みました。

また、企業として引き続き衣料品のリサイクル活動に取り組んでいます。

株式会社友栄

【100円ショップ向け卸売】

2014年度に引き続き事務所内の室温温度の徹底、コピー用紙の裏面利用、トナーカートリッジのリサイクル品の使用を継続して行いました。

また、2014年度において使用頻度の多かった蛍光灯をLED化しました。不在場所の消灯の徹底、社用車の1台削減も実施しました。

株式会社ナイスデイ

【寝装用品の卸売・直販】

コピー用紙削減のため、FAXをネットワークストレージのフォルダにPDF変換し保存しています。可能な限り送信もメールで実施しています。

また、コピー用紙の裏面利用も実施しています。

双洋貿易株式会社

【馬具・乗馬用品の製造・販売】

2014年度より引き続き夏期のスーパークールビズを実施するほか、ゴミ分別の徹底、再生トナーの使用やコピー用紙の裏面利用、不要照明の消灯を実施しています。

また、複合機の更新を計画、消費電力の削減に努めています。

株式会社ニッケ物流

【倉庫管理・運送】

「グリーン経営認証」を取得してから3年が経過し、環境目標を定期的に見直すことにより環境保全活動の継続的な改善に努めています。

また、グリーンエコプロジェクトセミナーへ参加し、「ゆっくり発進・ゆっくり停止」をモットーに燃費改善を3年間で目標を上まわる7%改善を達成し、さらに継続的な改善を目指しています。



環境にやさしい活動の実施

株式会社ツキネコ

【スタンプ台等の企画・開発・製造・販売】

吉川第二工場2階の北側製品倉庫は空調機が設置されておらず、夏場の天井付近の温度は60°Cに達していましたが、製品の品質維持と従業員のピッキング作業時の作業環境改善のため空調機を設置しました。

また、北側製品倉庫の屋根は折板屋根がそのままの状態を外気温の影響を直接受けてしまうため、屋上自然力応用遮熱シートを取り付けました。シートと折板屋根の間に設けられた空気層によって、太陽からの熱が屋根に伝わるのを抑え、夏季は遮熱効果が発揮されます。冬季は、屋根面からの放射冷却が抑えられることで暖められた内部の熱が逃げにくくなり建物の保温効果を発揮し、屋根裏などの結露緩和効果が得られます。



屋上自然力応用遮熱シートの導入